

NO14

本土戦用の弾薬箱

所在地は個人所有（いなべ市大安町鍋坂）



写真の弾薬箱（長さ133、幅32、高さ19cm）は側面に「九二式十糎^{せんちかのん}加農車載用弾薬箱」、その下に「二箇」と記載されています。大砲の砲弾が2個入っていたのです。

当時、石榑^{いしぐれ}村国民学校（現在のいなべ市大安町）の教室や山中には、本土戦用の兵器や弾薬等がたくさん隠されていました。

敗戦後の1945年9月、これらの武器・弾薬等进行处理するために占領軍が学校にやって来ました。

その手伝いに各地区から20・30人ほどが動員されましたが処理しきれず、残った弾薬箱などは、その人たちに分配されました。

この写真は、いなべ市大安町鍋坂の民家で靴脱ぎ台に使われていたものです。ほかにも大安町郷土資料館はじめ、石榑から^{はった}治田、^{あげき}阿下喜にかけての民家にいくつか残っています。